

田舎暮らし体験交流事業報告

今年も多くの方が勝山市を訪れ、「田舎暮らし」を体験しました。その活動について報告します。

☎ 農業政策課（市役所1階） ☎ 88・8106



市では、移住・定住を促進するため、平成20年度から田舎暮らし体験交流事業を実施しており、現在4人の事業参加者が定住しています。本年度から田舎暮らし体験関連の業務を『勝山田舎暮らし体験応援倶楽部キラリ（以下、キラリ）』に業務委託しています。

キラリは平成27年4月に設立された団体で、田舎暮らし体験の事務局業務および勝山市の農産物をはじめとした地域資源の販売促進などを行い、さらなる地域活性化を目指す団体です。

■住み込みでお手伝い

田舎暮らし体験とは、都会からの参加者に市内の各農家さんの農作業などを手伝ってもらい、代わりに食事と宿泊先を提供する仕組みです。

近年では東京や大阪など様々な地域から年間100人以上の方が田舎暮らし体験に参加しています。

参加者からは「今までにない経験ができてとてもよかった」、受入先からは「明るい方に多く来ていただき活気づいた」と、双方がとても充実した時間を過ごしています。

■参加者について

今年度は11月末現在で94人の参加者があり、平成20年度からの累計参加者は886人と順調に人数を増やしています。

今年度人気の参加プログラムは、地域を活性化するお手伝いとなっています。地域別では、北は埼玉県、南は鹿児島県から参加がありますが、中でも中部圏が多くなっています。滞在期間は1泊2日の参加が多いですが、今年は長期休暇、夏休みを利用した1週間以上の滞在も目立ちます。また、気軽に日帰り参加される方もいます。

参加者の内訳（11月末現在）

性別	人数	年代	人数
男	57	10代未満	5
女	37	10代	33
計	94	20代	41
		30代	3
		40代	8
		50代	2
		60代	2
		計	94

体験の内容	人数
農作業のお手伝い	20
牧場のお手伝い	5
地域を活性化するお手伝い	62
地域の伝統を守るお手伝い	7
計	94

※複数の内容を体験した方は、主に体験したプログラムで集計しています

キラリでは、田舎暮らし体験の受入れをしたいという農家を募集しています。詳しくは、キラリ事務局までお問合せください。

☎ キラリ事務局（農業政策課内 市役所1階） ☎ 88-8106

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク

日本の国土面積の約60%は、雪が積もる地域です。北陸をはじめ、山陰、東北、北海道など日本海側がその主な地域です。これらの地域では、雪が人々の暮らしに様々な影響をもたらしてきました。私たちの住む勝山も例外ではありません。そこで、今回は雪について考えてみましょう。

■日本海側にたくさん雪が降るのは大陸から寒気をともった冬の季節風が、対馬暖流が流れる日本海から熱と水蒸気を受けて雪雲となり、南北に連なる山脈に沿って雪雲が上昇して、日本海側に多くの雪を降らせます。勝山盆地にも、その雪雲が九頭竜川の谷に沿って流れ込み、多くの雪を降らせます。

■積雪は天然ダムと風土を育む

雪は水資源を考えるうえで重要な要素の一つです。勝山の産業を支えてきた滝波川や女神川にある発電所の水は、大量に降る雪がその源となっています。つまり積雪が「天然ダム」の役割を果たしていると言えます。また、雪は冬の勝山の風土を育んできまし

ー第17回ー ジオパークから見た勝山雪物語

た。例えば、北谷町小原に残る「大壁作り民家」は、冬の積雪で1階部分からの出入りが困難になるため、2階に縦長の出入り口を備えた様式になったと言われています。

また、かつての城下町では雪で閉じこもりがちの人々の絆と春を待つ庶民の心意気を表す「勝山左義長まつり」が今に伝えられています。



■何気ない風景に自然災害の痕跡が

一例として野向町の高尾岳の斜面には、すじ状の地肌や帯状に杉林がない部分が見られます。これは、度重なる雪崩の発生により山地斜面が線状にえぐられたものです。この風景から雪崩が発生したことが理解することができます。



高尾岳の雪崩痕

時には降雪の功罪を知り、豪雪地帯で生きている私たちの生活を検証し、自然の風景を見渡してはいかがでしょうか。

☎ ジオパークまちづくり課（市役所2階） ☎ 88・8126

勝山の魅力を全国に! 地域おこし協力隊



地域おこし協力隊 牧野 優さん

皆さん、こんにちは。地域おこし協力隊の牧野 優です。今回は10月に行なったイベントと市内で活動している若者を紹介します。

■『親子わくわくパフパフ野菜塾 〜きただにじかん〜』（第3回）

広報8月号と10月号でご紹介した見出しのイベントの第3回を10月18日に行いました。

今回は秋野菜の収穫と、ひょうたんを使ったクラフト体験をしました。収穫したのは春に植えたさつまいもで、参加者は宝探しのようにならなつて土の中から掘り出していました。クラフト体験ではひょうたんのマラカスとランプシェードを作りました。今回も参加者全員笑顔でとて



さつまいも収穫



ひょうたんのランプシェード

も楽しいイベントになりました。

春から行ってきたイベントも今回が最終回となりました。様々な方にご協力いただき無事に終了することができました。来年もイベントを実施する予定ですので、皆さんもぜひ参加してみませんか。

■幻の黄金漬け試食会

広報8月号で紹介した「まちづくりワークショップ」で活動していたメンバーが主体となり、妙金ナスで作った黄金漬けの試食会を11月1日に開催しました。

7月に生産農家を訪ね、収穫・漬物作りを体験したメンバーが、その時食べた妙金ナスの美味しさに感動し、「もっと多くの人に妙金ナスを食べてもらいたい」と今回の試食会を企画・実施しました。



妙金ナスの黄金漬け

試食会には20〜30代を中心に12人の参加者が集まり「皮が硬くて歯ごたえがあつて美味しい」「適度な辛さで白米によく合う」と大好評でした。

メンバーは、今後も自分たちのできる形で妙金ナスにかかわってきたいと意気込んでいました。

☎ 農業政策課（市役所1階）

☎ 88・8106